



2018年度第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」募集 5月31日まで「国内・訪日」と「海外」の2領域・3部門対象に



第3回ジャパン・ツーリズム・アワードで大賞を受賞した南三陸ホテル観洋による「語り部」ツアー

ツーリズム EXPO ジャパン (T E J) 「主催」公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、日本政府観光局 (J N T O) は5月31日まで、2018年度第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」の募集を行っています。

「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、ツーリズム産業界の発展・拡大に貢献し、T E J 2018とのシナジー効果に寄与する取り組みや国内・海外の団体・組織・企業による持続可能で優れた取り組みを表彰するものです。

表彰対象となる募集は、「国内・訪日」と「海外」の2領域・3部門です。2018年度は、これまでの大賞、優秀賞、入賞に加えて、新たに「DMO推進特別賞」「ICT活用特別賞」「UNWTO倫理特別賞」を設定しました。

受賞によって、(1)外部からの評価向上や新たなビジネスパートナーの発掘、(2)3年間の受賞ロゴ使用による外部からの信頼獲得、(3)受賞団体・組織内でのモチベーション向上、などの効果が期待できます。

日本の魅力を輝かせる地域の観光資源を活かした取り組みや海外各国との双方向交流拡大を目指す取り組みなど、国内・海外の団体・組織・企業の皆様から多数の応募をお待ちしています。

2018年度第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」概要

主催：ツーリズム EXPO ジャパン

募集期間：2018年3月1日(木)～5月31日(木)

受賞団体発表：2018年8月下旬

表彰式：2018年9月20日(木)

表彰式会場：東京ビッグサイト

募集領域・部門

① 国内・訪日領域：国内旅行および訪日外国人旅行の拡大・活性化への取り組み

(1) ビジネス部門 (2) 地域部門 (3) メディア部門

② 海外領域：日本からの海外旅行需要の拡大・活性化への取り組み

(1) ビジネス部門 (2) 地域部門 (3) メディア部門

※各部門および対象者

(1) ビジネス部門 (国内・訪日領域/海外領域)

国内外の交流人口の拡大や、ツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した取り組みを表彰します。事業性があり、かつ応募段階で1年以上継続している取り組みとします。

応募対象は、旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、流通・食品、ICT、農林・水産業・加工業、伝統工芸、土産制作販売など

(2) 地域部門 (国内・訪日領域/海外領域)

国・地域の観光関連組織が一体となつての魅力ある観光地域づくりや、国・地域固有の観光資源を活かした総合的・地域活性化に結び付く取り組みを表彰します。

応募対象は、国・政府、観光局、大使館、自治体、観光協会、NPO法人、DMO、フィルムコミッション、スポーツコミッションなど

(3) メディア部門 (国内・訪日領域/海外領域)

国内外の旅行需要喚起、促進及び地域の価値向上に大きく貢献した広報媒体やプロモーションなどの取組を表彰します。

応募対象は、出版社、放送局、新聞社、映像制作会社、YouTube (含む YouTube) など、各種メディアを通じて交流人口の拡大に寄与する企業、団体、個人

各賞：大賞 1本
優秀賞 3本

入賞 各部門から1～5本程度

DMO推進特別賞 1～3本程度

ICT活用特別賞 1～3本程度

UNWTO倫理特別賞 1～3本程度

審査のポイント：(1)先駆性・創造性、(2)持続・発展(可能性)、(3)社会性

審査方法：応募資料をもとに、選考委員会(委員長/本保芳明氏)・国連世界観光機関駐日事務所代表で各賞を決定し、表彰を行います。

※第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」の詳細については、公式ホームページ (<http://www.t-expo.jp/biz-program/award.html>) を参照ください

《これまでの「ジャパン・ツーリズム・アワード」大賞受賞者》

〈第1回〉

◎ 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

「瀬戸内芸術祭の開催による地域再生の取り組み」

〈第2回〉

◎ 飛騨高山国際誘客協議会

「官民協働での外国人観光客の誘致受け入れ」

〈第3回〉

◎ 株式会社阿部長商店 南三陸ホテル観洋

「震災を風化させないための語り部バスによる地域交流活性化の取り組み」